# オンライン報告会

開始までしばらくお待ちください。 今回はFacebookでライブ配信もします。

> 2021年9月25日 19時~20時15分

福岡県古賀市議ぬま健司



# 9月定例議会の主なテーマ







一般質問で政策提言



基本構想に大綱質疑



答弁する田辺市長

①補正予算14億6400万円、過労死ライン11人

②コロナ対策補正と自宅療養者に対する生活支援

③決算認定審査5日間、歳出280億円、コロナ73億円、財政状況、総合計画委託1500万円健診結果等

④一般質問:シンクタンク、公文書、アクションプラン

⑤選挙費用の公費負担(投票時間20時に戻る)

⑥少人数学級、義務教育費国庫負担拡充の請願

⑦地方税財源充実求める意見書、議運が提出

⑧第5次総合計画の基本構想を最終日提出

まず、 地域のできごと 地域での活動

# 花見小前にハンプ完成



### 通学路の安全確保 スピード減速 交通量減少

校区一体となった運動 古賀市で初のハンプ 2年間で実現

2019年8月 花見校区でハンプ実証実験要望書

2020年9月 国道事務所の協力で実証実験を実施

2021年8月~9月 花見小通学路2か所にハンプ設置完了

# 千鳥駅東口整備 2021年度に用地取得 2022年度以降に工事実施



### 千鳥駅東口整備の第一歩

古賀市土地開発公社が土地の先行取得

6月15日の本会議・大綱質疑で判明

予算額	1億8675万円		
取得する面積	約2074m²		
設計内容	2014年度に実施した設計内容を精査し		
改計的合	追加設計が必要か検討		
整備内容	●駅前広場として、バス停やタクシーブー		
	ルなどを配置予定		
	●駅前広場への接続道路である市道浜山 1		
	号線の歩道整備を含めた改良を予定		
	▼付近の踏切の拡幅は予定していない		
スケジュール	●2021年度に開発公社で先行取得		
	国庫補助事業対象とする要望		
	●2022年度以降に用地の買戻しや整備		
	工事を実施予定		

## 古賀市でもオンデマンドバスの実証実験を!

路線バス赤字補てん、 5千万円超す!



ダイヤも運行ルートもない アプリや電話で予約・呼び出し 最短距離で目的地へ

古賀市でも、小竹系統、 花鶴丘や日吉台で検討か



# 宮地岳線跡地の活用花見東2区でワークショップ対話とアンケートによる合意形成

第2回ワークショップ(6月27日)意向調査結果・分野別の重要度

安全に暮らしたい

赤

棒グラフは

跡地に関連する項目です

# 「こうありたい」 住民の意見を 重要度で3段階評価

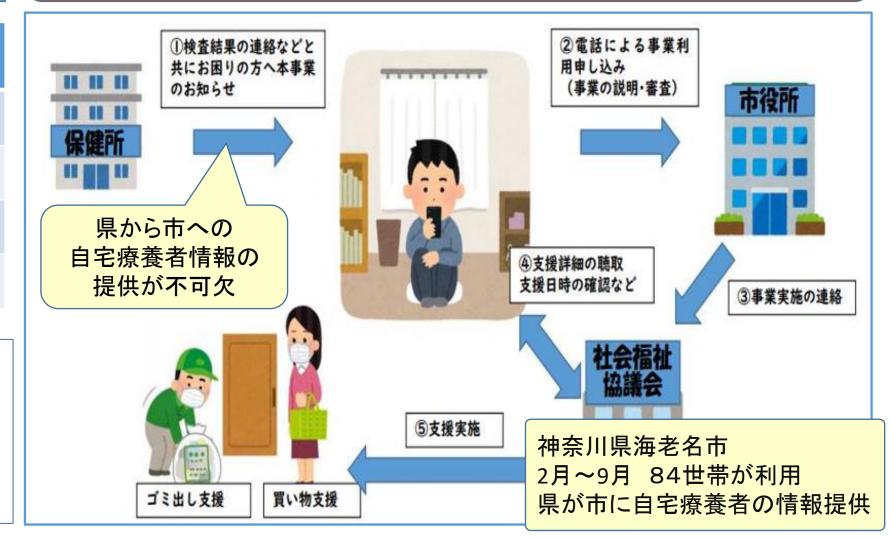
遊歩道、救急車両、速度抑制、抜け道回避

### ワクチン接種 2回目接種済みの割合 9月24日時点

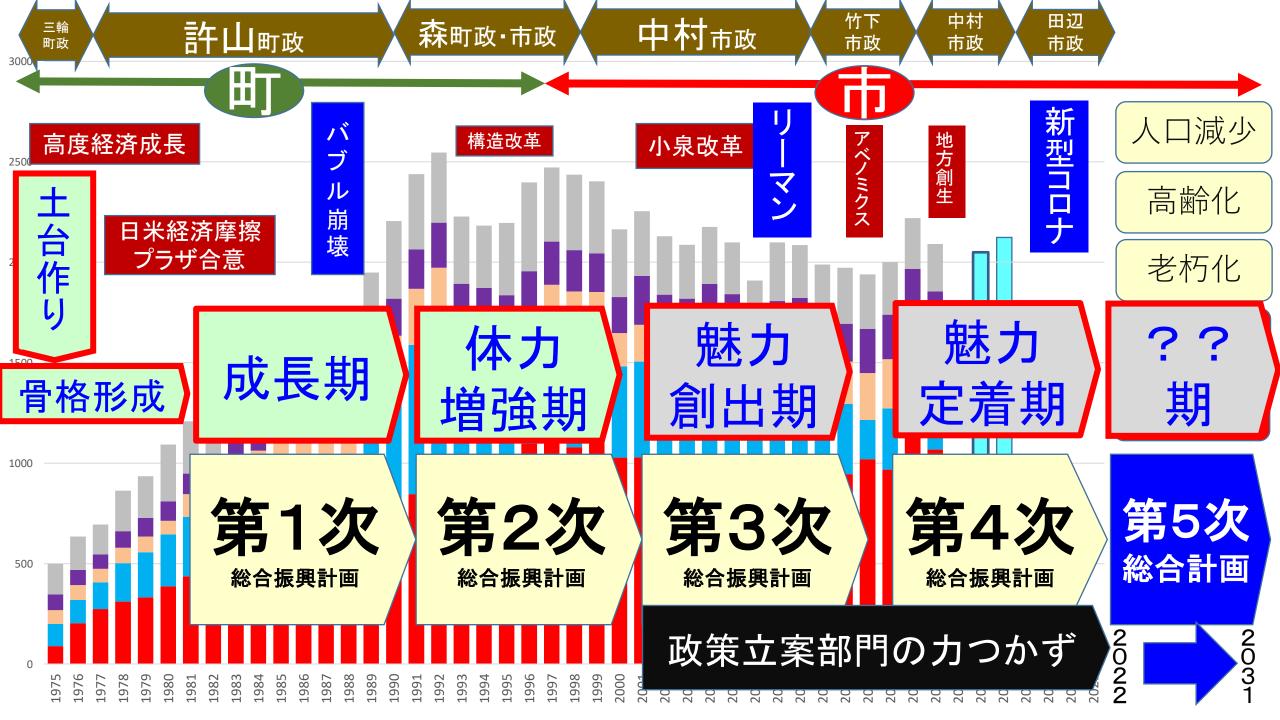
	65歳以上	全対象者 12歳以上
接種人数	15, 155	30, 158
接種率	91. 5%	56. 7%
全国		55. 8%
福岡県		54. 4%

- ●8月20日から29歳以下の予約開始
- ●8月25日から補欠接種者の募集
- ●県の大規模接種 9月15日~10月29日 保育士、教職員など若年層 (16歳以上40歳未満)

コロナ自宅療養者への買い物・ゴミ出し支援 7月開始以来、利用実績は1件 古賀市福祉課 942-1156 にご相談を!



# 10年後の古賀市 一緒に考えて みませんか



温暖化

食料·水危機

プラスチック



SDGs 2030

分岐点

可以

未来からの声

この10年が 人類の未来を決める

2021

市民の声

コロナ

# 第4次総合振興計画

# 第5次総合計画

基本 構想

# 都市イメージ人口目標土地利用

基本計画

重点プロジェクト 政策別基本目標 基本方針・主な施策 代表的指標

前期 5年間 後期 5年間 基本構想

- ●都市イメージ
- ●基本指標·土地利用
- ●基本目標ごとの 政策・施策
- ●基本構想の推進指針

アクションプ ラン

具体的事務事業

4年間

×

7プラン

毎年ローリング

全部署・全職員の 議論

コロナ経験市民意識の反映

# 総合計画

目的(将来像)大綱

市民参画ワークショップ

10年先の明確なビジョン

市  $\blacksquare$ 長 や議 思想会 定に 口出 か 7 た 年

第1章 都市イメージ・基本目標・基本構想の推進のための指針

- 都市イメージ -

# ひと育つ こが育つ

人がまちを支え まちが産業を支え 産業が人を支え みんなが育つ

未来に向かって育ち続けるまち

### 第2章 まちづくりの方向性

#### 1 基本指標

#### まちづくり指標(主観指標)

令和元(2019)年度に実施した「まちづくりに関する市民アンケート調査」の結果をもとに、「住みよさ指標」「定住指標」の2つの指標を設定します。

#### 住みよさ指標

古賀市は住みやすいと感じる人の割合

**74.2%** (令和元 (2019) 年度) → 上昇 (令和 13 (2031) 年度)

※アンケート設問内容

現在の古賀市の「住みやすさ」についてどうお感じですか? (「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」の合計)

#### 定住指標

今後も古賀市に住み続けたいと考える人の割合

**59.7%** (令和元 (2019) 年度) → 上昇 (令和 13 (2031) 年度)

※アンケート設問内容

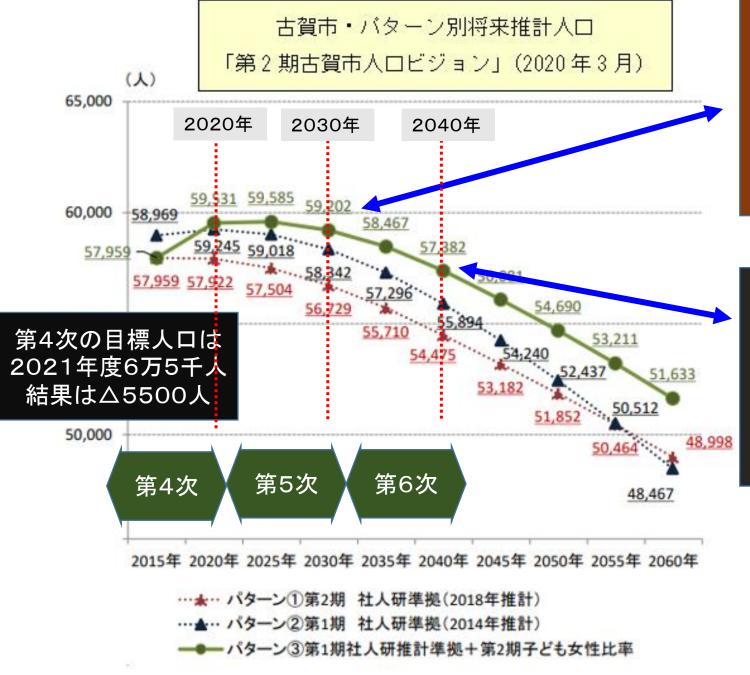
あなたはこれからも古賀市に住み続けたいと思いますか? (「今の場所に住み続けたい」「市内の別の場所に移りたい」の合計)

### 想定人口(客観指標)

本市の人口は、近年緩やかな増加傾向が続いており、令和 2 (2020) 年 9 月末現在の人口は 59,694 人とほぼ 6 万人規模に達していますが、第 2 期古賀市人口ビジョンでは、令和 7 (2025) 年をピークに減少に転じ、その後は緩やかに減少していくと予測しています。

国全体において人口減少・高齢化が進展する中、本市が、将来的な人口減少社会における課題に立ち向かい、将来にわたって持続可能なまちづくりを進めていくためには、子育て世代にとって魅力的なまちづくりや、企業立地による税収の確保と雇用の創出、既存ストックを有効活用した計画的・効率的な人口集積などの施策を推進し、現在の人口規模を可能な限り維持することが望ましいことから、想定する人口規模を6万人とします。

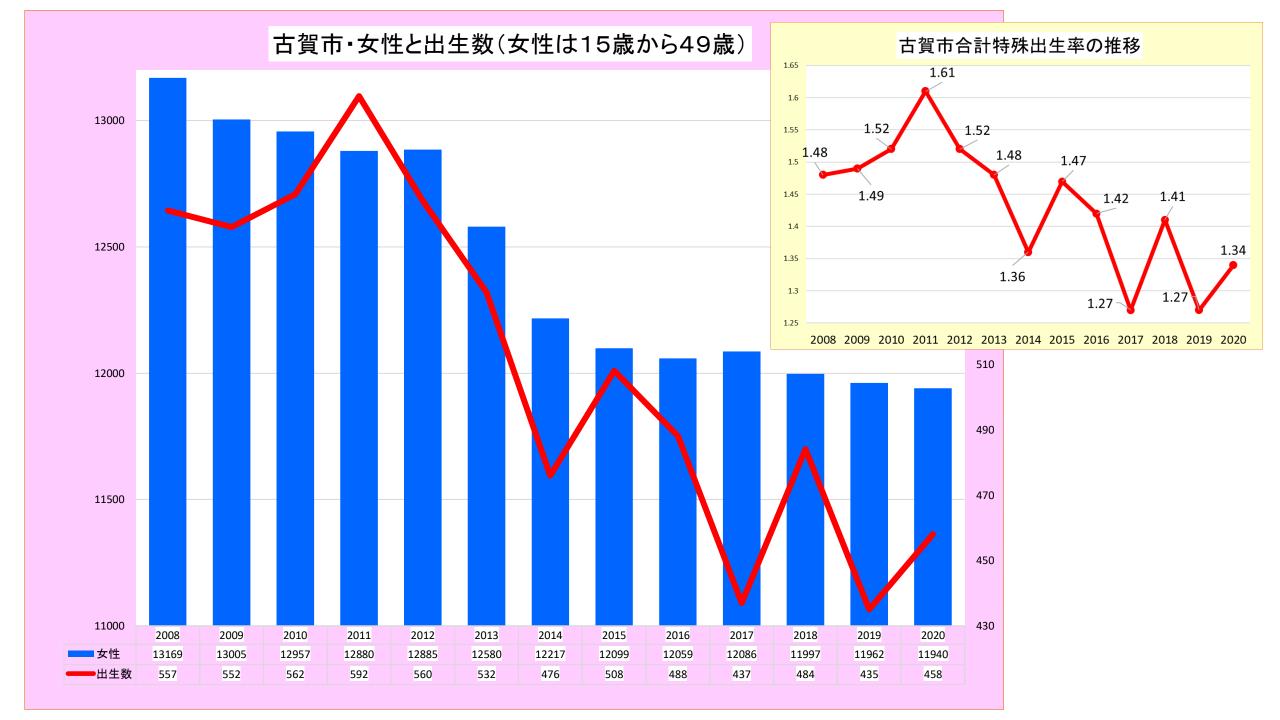
想定する人口規模 60,000人



10年後の古賀市の人口 2031年想定人口6万人とするなら… パターン①との差は約3300人 パターン②との差は約1800人 パターン③との差は約1000人

20年後の古賀市の人口 想定人口6万人を維持するというなら パターン①との差は約5600人 パターン②との差は約4200人 パターン③との差は約2700人

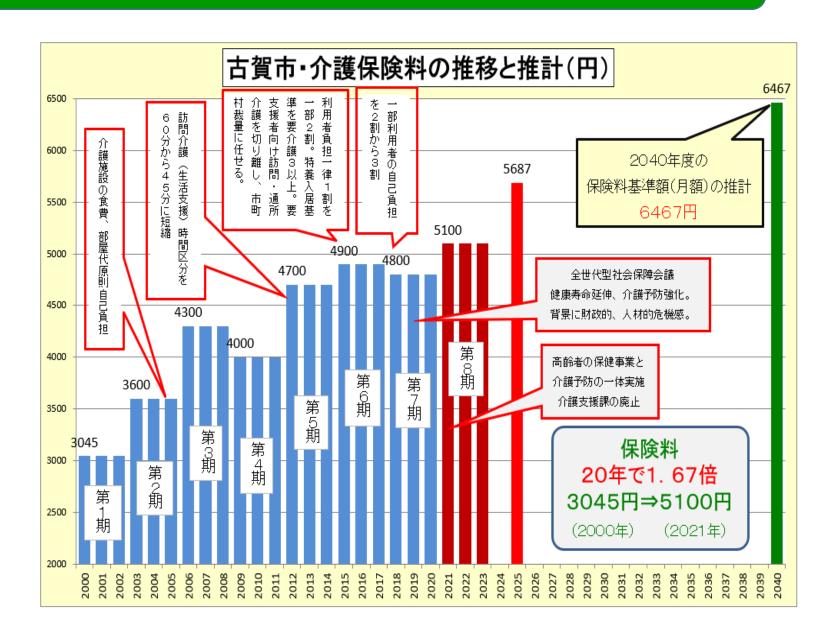
人口減少時代にどう備えるか?



### 10年後、20年後の少子・超高齢化にどう備えるか

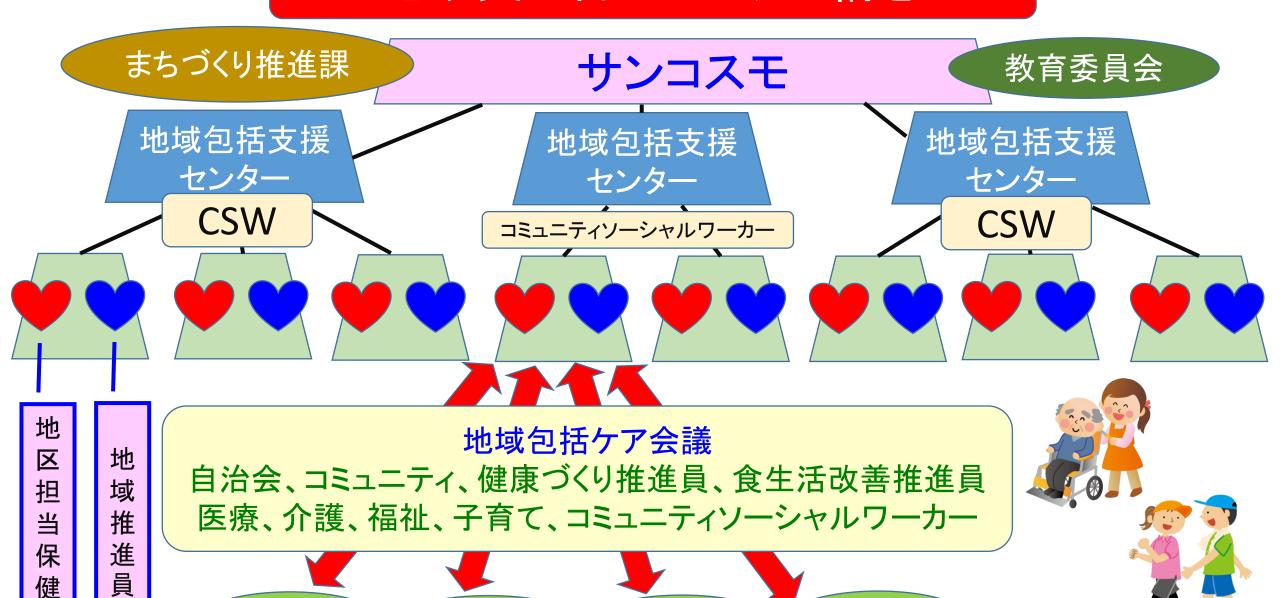
	2020年	2030年	2040年
65以上	16,041	17,660	18,647
15 <b>~</b> 64	35,190	33,743	31,421
15未満	8,299	7,798	7,314
高齢化 率	26.9	29.8	32.5





# 私力等 今後10年間に 実現したいこと

### 地域支え合いセンター構想



公民館

公民館

師

公民館

公民館

妊娠 0 3 6 1 1 2 4 6 7 胎児期 歳 歳 歳 歳 歳 歳 歳 歳 歳 歳

妊婦健康診査

ん訪問

乳幼児健診

学校健全

若者健診

特定健診

後期高齢者健診

小中学生、若者の特定健診を

実施率47.2%

# HbA1c測定 183人

**基準値** 5.5以下

123人(67. 2%)

基準値超え 5.6~5.9

757人(31.1%)

糖尿病疑い 6.0~6.4

3人(1.6%)

低出生10.5%

家族歴有り 31.6%

やせ 0% 普通 84. 2% 軽度肥満 8.8% 中等度肥満 5.3% 高度肥満 1.8%

### 尼崎市 子ども特定健診(11歳、14歳)の実績

順位	有所見内容	有所見率
1位	HbA1c	30%
2位	中性脂肪	19%
3位	尿酸	18%
4位	血圧	12%
5位	肥満	12%
6位	GPT	7%
7位	LDLコレステロール	2%
8位	HDLコレステロール	1%

2018年度・11歳のデータ

		総数	リスク 3個以上	
11 歳	肥満	192	40	20.8%
	肥満なし	1361	38	2. 8%

